

単元名 わたしのまち みんなのまち 市の様子

1 学年

- | | |
|---|---|
| 小 | 中 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| ③ | 3 |
| 4 | |
| 5 | |
| 6 | |

背景

本単元では、市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など、市の様子は場所によって違いがあることを学習する。そして、児童は自分自身にとって身近な地域とは様子の違う所が市内に存在することに気付くことによって、市全体の様子に興味・関心をもち、視野を広げていく。

そうした特色ある場所の1つとして、印旛沼が挙げられる。印旛沼は、千葉県北西部に位置し、北印旛沼と西印旛沼に分かれており、2つの沼は捷水路で結ばれている。流域はアフリカ大陸に似た形をし、流域面積は約541km²で、千葉県の面積の約10%に相当する。流域人口は約79万人で、千葉県総人口の約13%を占めている。西印旛沼には鹿島川・高崎川・手繰川・神崎川・新川・桑納川・師戸川等の河川が、北印旛沼には江川・松虫川等が流入し、印旛沼の水は長門川を通して利根川に流れていく。その流域は13の市町にも広がり、多くの子供たちの生活に何らかの形で関りをもっている。

また、印旛沼流域では、水資源や地形を利用して、多様な催しが行われている。その多くは子供たちにとっても興味をひくものであり、催しを通して印旛沼流域の特色や様子について学ぶことができる。

ここではそのように多くの地域に関わりのある印旛沼流域について学び、その土地利用の様子や人々との関わりについて学ぶことで、児童の印旛沼に対する誇りや愛情を深めていきたい。

2 教科・領域

- | | |
|------|----|
| 国語 | 生活 |
| ③ 社会 | 家庭 |
| 算数 | 図工 |
| 数学 | 道徳 |
| 理科 | 総合 |

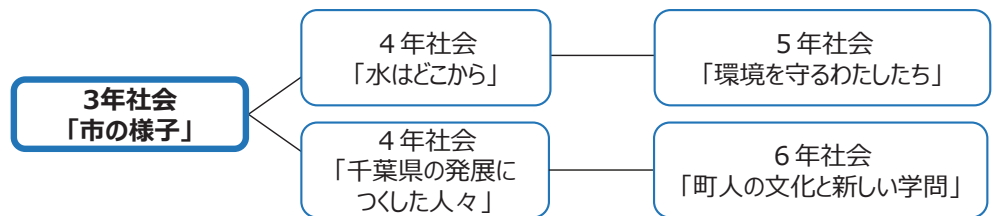
ねらい

- 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。
- 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。

3 見方や考え方

- ③ 多様性
- 関連性
- 空間的広がり
- 時間的変化

系統



4 資質・能力

- ③ 知識・技能
- 思考力
- 判断力
- 表現力
- ③ 主態度

資料・準備・関連機関等

資料

- ・「わたしたちの佐倉市」佐倉市教育委員会、2016
- ・「シンキングツール～考えることを教えない～」黒上晴夫・小島亜華里・泰山裕、NPO法人学習創造フォーラム、2012
- ・「いんばぬま情報広場」印旛沼流域水循環健全化会議、<http://inba-numa.com/>

関連機関

- ・企業局管理部業務振興課
- ・公益財団法人印旛沼環境基金
- ・市町県の環境課など

指導計画

5 指導時間

- ・準備 1時間
- ・授業時間 1時間

時配	学習内容
1～10	年間指導計画に準じて展開。
11(本時)	印旛沼流域の土地利用や人々との関わりについて理解する。
12～16	年間指導計画に準じて展開。

本時でねらう見方や考え方

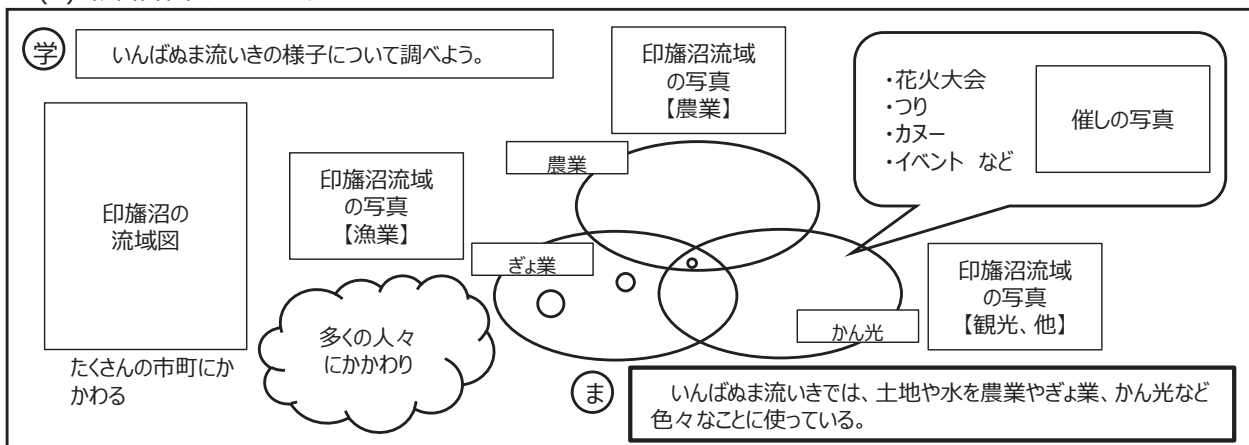
私たちの身近にある印旛沼流域では、その特色ある水資源や地形を利用して、人々が印旛沼に親しむことができる多様な催しが行われていることを理解する。

本時の指導 11 / 16

- (1) 目標 ・印旛沼流域の土地利用の様子や人々との関わりについて、理解できる。(知識・技能)
 ・印旛沼流域の土地利用の様子や人々との関わりについて、調べようとする。(主体的に学習に取り組む態度)
- (2) 展開

学習過程	時配	学習活動と主な発問(◎)	指導や支援(・)評価(☆)	資料
見出す	3	1 これまでの学習内容について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 市の土地の高さや広がり、どのようになっているか、調べたことを確認する。 印旛沼流域について地図を見て確認する。 「流域」の意味について確認する。 	既習の掲示物 印旛沼流域図
	1	2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いんばぬま流いきの様子について調べよう。</div>		
調べる	10	3 印旛沼流域の写真を見比べて、それぞれの土地利用の特色を探す。 ◎写真を見比べて似ている所、違う所を探そう。	<ul style="list-style-type: none"> 似ている所、違う所を個人でワークシートに書き込みながら特色を捉える。 	印旛沼流域の写真 ワークシート(ペン図)
	5	4 印旛沼流域で行われている催しについて知っているものを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 自身の経験を元に、知っている催しについて挙げさせる。 	
深める	12	5 印旛沼流域の土地利用の特色や、催しについてペン図を用いて整理し、その多様性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用の特色、催しを発表させ、教師が短冊に書いていく。 短冊を黒板でペン図を用いて整理し、各区分のタイトルを付ける。 ☆印旛沼流域の土地利用の様子や人々との関わりについて、調べようとしている。(主態度) 	ペン図短冊
	5	6 ゲストティーチャーの話聞く。(もしくは映像資料)	<ul style="list-style-type: none"> 印旛沼流域の土地利用の特色や、催しについて紹介すると共に、印旛沼流域が人々どのように関わっているのかを理解する。 	ゲストティーチャーの話 映像資料
まとめあげる	3	7 本時の学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いんばぬま流いきでは、土地や水を農業やぎょ業、かん光など色々なことに使っている。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ペン図とゲストティーチャーの話からまとめを考える。 	
	5	8 学習を振り返って、感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ☆印旛沼流域の土地利用の様子や人々との関わりについて、理解している。(知・技) 本時の学習を通して考えたことをノートに書く。 郷土や印旛沼を大切にしようとする心情について書いている児童の感想を紹介する。 	
	1	9 次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> 次の時間は市の交通の様子について調べようとする。 	

(3) 板書計画・ワークシート



資料等

(1) 資料及び使い方

○既習の掲示物

⇒教科書の内容に準じて、市の土地の高さや広がり、どのようになっているかをまとめる。

○印旛沼流域図



(いんばぬま情報広場)

○印旛沼流域の写真（農業・漁業・観光）



○思考ツール「ベン図」の使い方

⇒①土地利用の特色、催しを教師が短冊に書いていく。

②円の重なる部分に、どちらにも当てはまること、円の重なっていない部分に各々、片方だけに当てはまることの短冊を貼る。

③それぞれの部分にまとまりの特徴を端的に書く。

④ベン図に書いたことを見て、まとまった考えを書く。

○ゲストティーチャー（市町県の環境課の方など）の話の概要

⇒印旛沼流域の土地利用の特色や、催しについて紹介してもらうとともに、印旛沼流域が人々とどのように関わっているのかについて5分程度で話してもらう。

映像資料使用の場合は、「いんばぬま情報広場」へアクセスし、ダウンロードする。

(2) 授業のポイント

「1 これまでの学習内容について確認する。」

⇒「印旛沼流域」の意味は、「降った雨が、川などを通じて印旛沼に流れ込む範囲」と説明する。その際、自分たちの家や学校が印旛沼流域にあるということは、自分の家や学校に降った雨が印旛沼の水になるのだということを加えて説明し、印旛沼が自分たちにとって非常に関係が深いのだということを理解させる。

「3 印旛沼流域の写真を見比べて、それぞれの土地利用の特色を探す。」

⇒流域の土地が人々にどのように使われているかに注目して考えさせ、「野菜や米を作っている。」「魚をとっている。」「観光に使われている。」という3つの観点にまとめる。そこから共通点として「水」や「土地」を利用していることをおさえ、これらが多くの人に関わっているということをつかませる。

(3) 留意点

本単元は市の様子を大まかに理解できることが目標となっているため、印旛沼についての概要を捉え、より詳しくは今後の学習で取り扱うこととする。

(4) 発展または別案

各市町での流域における催しについて扱い、「農業」と「学習（水生生物の観察）」などタイトルを変えたり、ベン図の数を変えたりしてもよい。

各市町の代表的な印旛沼の活用の例を以下に示す。

・千葉市：製鉄所への工業用水の供給、柏井浄水場（4つの浄化設備）

・成田市、佐倉市、印西市、酒々井町、栄町：以下のサイト参照。

○「印旛沼周辺利用ナビマップ」

○「印旛沼里沼ウォーキングマップ」

<http://inba->

[numa.com/letsgo/mapdownload/mapdownload/#ryuukimap](http://inba-numa.com/letsgo/mapdownload/mapdownload/#ryuukimap)

・八千代市：以下のサイト参照。

○「印旛沼流域かわまちづくり計画（令和2年3月）」

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/21000/page100108.html>